

# 市議団ニュース

連絡先 2019年6月30日号  
杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058  
石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】  
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

## 市民合意も検証もなしで新市基本計画変更へ！

### 6月議会の特徴は

◆消費増税増分を財源として  
各種の軽減策が国主導で出され  
ましたが、議員団は反対

国は、10月1日から実施すると公言している「消費税10%への増税」にあたり、「社会保障の充実を図るとして」各種の「新しい経済政策パッケージ」なるものを発表しています。

- ◆幼児教育・保育の無償化
  - ◆高等教育の無償化
  - ◆保育士の処遇改善
  - ◆介護人材の処遇改善 などです。
- それらの他に久喜市は
- ・未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時給付金
  - ・低所得者の介護保険料引き下げ

などの議案を提案してきましたがどれも、純粋な「福祉充実や負担軽減策」ではなく、消費税の増税という国民と市民への負担増を押し付ける口実に過ぎないものです。

たとえば介護保険料の引き下げなどは、党議員団は予算の修正案まで出して一貫して提案してきたものですから、「引き下げは大賛成である」としつつ、「しかし、こういう市民負担を原資にした軽減はすべきではない」と述べました。

### 菖蒲町栢間地区の皆さんから まちづくり活性化の請願出される！

6月議会に、「菖蒲町栢間地区の町づくり活性化」を求める請願が、地域住民16名の署名を添えて提出されました。請願の内容は、「栢間地区は住民の減少・高齢化が進み農地が荒廃し取り残された環境となっている。農地法・都市計画法等の規制を緩和し、土地区画整理事業により地域の集約整備を進め、企業誘致・住宅増など地域活性化を推進していただきたい」というものでした。

地域の方達が抱える、高齢化や後継者不足、地域環境の悪化の問題は十分理解できることです。しかしながら、問題点もあります。

- ① 農業振興地域として指定されている栢間地域の変更は県の許可が必要で、特別の理由がない限り変更や土地区画整理事業もできないこと。
- ② 企業誘致はこの地域の場合 50%以上のまとまった土地と所有者の全員の賛同が必要であること。
- ③ 都市計画の34条の11号の地域に適合はできない。
- ④ 国県に関わる法的解決が必要であり、総合振興計画・マスタープランの改正も必要となる。

以上のように請願内容には高いハードルがあり、多岐にわたる高度な内容であることから、十分な検証と検討が必要と考え、日本共産党は、趣旨採択することを主張しました。委員会での採決結果は「趣旨採択」となりました。これからの大きな課題となります。



整備が急がれる佐間・八甫線の全景  
今年度、ようやく「いなりばし」の  
架け替え工事がはじまります。

### 新市基本計画の改正

#### ◆計画変更について問題点

今議会には「新市計画の変更、10年間のさらなる延長」の議案が審議されました。主旨は、「計画期間を延長し、引き続き本計画によるまちづくり推進するため、計画の一部を変更する」というものです。

具体的には、東日本大震災で被災した地域の復興が、10年間ですべて終了になっていないので、計画をさらに延長し、合併推進債の利用が10年間延長されることになりました。久喜市では、該当が4事業となり、アセットマネジメントの進みようで

は該当事業が増える可能性もありますが、有利な推進債かもしれないませんが、推進債を活用しての強引なアセットマネジメントが進められることも懸念されます。

学校給食センター建設では、自校方式給食を望む市民に対して、十分な検討、説明もないままセンター方式にし、推進債ありきで建設計画が進められました。

10年という基本計画が終了するのであれば、合併10年を節目として、諮問機関を立ち上げて、検証をすべきでした。「事業内容を示した上での新たな計画、財政計画の変更となるのが筋ではないか」市民への説明責任が果たせないことから反対をいたしました。

## 平間ますみ



### 補聴器購入条件の緩和を

**問** 加齢性難聴は、70歳以上の高齢者の約半数になると言われ、コミュニケーションにも支障が出て認知症のリスクが高まると言われている。市の補聴器購入補助金条件を緩和し、多くの方に快適で安全な生活を送っていただく対応をすべき。

**答** 国も補聴器を用いた聴覚障がい認知機能低下予防の効果の実施をする。国の動向等も注視しながら、市としてどうするかは検討していきたい。

### 市内小中学校トイレの洋式化 推進計画を

**問** 雨漏りなどと一緒に大規模改造として、トイレ洋式化に取り組む方針では具体的な取り組み、スケジュールが全く想定できない。整備計画の予定を伺う。

**答** 洋式トイレの設置率が50%未満の小学校14校、中学校10校の計24校を対象に策定をしたい。本年9月ごろまでに検討をし、具体的な策定作業に入り、関係部局との協議を経て、令和2年3月に大規模改造年次計画を決定する予定でいる。

## 杉野おさむ



### レオパレス21の違法実態と改善策を

**問** レオパレス施工のアパートなどで「界壁」（火災時に延焼を防ぐための天井裏の仕切り）を設置していないなどの消防法や建築基準法違反が全国で数万件出た。実態は。

**答** 「界壁がないもの」が7件。施工不良が1件あった。

**問** 市の検査よりも早いという理由で、民間の検査センターに委託する方が多いが、市による検査の方が時間はかかってもしっかり検査するので安全だ、ということアピールすべきだ。県や民間と協議して改善策を出してほしい。

**答** 国と県の対応を踏まえ、市も検査のあり方を検討する。

### 「振り込め詐欺対策」で録音機購入に市の補助を

**問** 高齢者を狙った特殊詐欺は埼玉県では3か月で346件、約5億円の被害が出ている。久喜市ではどうか。

**答** 平成30年度で41件6263万円の被害が出ている

**問** 詐欺実行者の声を録音するという音声で、犯行を抑止できる効果がある。多くの自治体では購入補助がある。久喜市民を詐欺被害から守るために検討すべきではないか。

**答** 導入しているふじみ野市では、逆に被害がふえている。

**要望**：それだけに納まっているという捉え方をすべきだ。少しでも被害を減らす努力をすべきである。緊急を要する。

## 6月議会：市議団4人の一般質問内容です

## 渡辺まさよ



### 理科大跡地の巨大物流センター(RW)の騒音被害の対策を講じるべき

**問** RW社の物流センターが4月から営業開始された。それにより、深夜2時まで、早朝の物流運送がされ、近隣住民が騒音で困っている。対策を講じるべきだ。

**答** 職員による騒音調査を行っている。事業者へ指導し、周辺地域への協力・配慮をお願いしていく。

### 乳幼児学校訪問について、子育て未来課のバックアップを

**問** 久喜市では、子育てサークルの皆さんが中心となり乳幼児と保護者の方が市内の小中学校を訪問し、命の大切さや子育てについて学ぶ授業をしている。今後拡大する上で子ども未来課の協力をしてほしいが。

**答** 子育て団体・教育委員会と協議し、できる支援をしていきたい。

**「たばこポイ捨て禁止」の看板作成をしていただきたいが**  
**答** 状況に応じて必要な看板を作成していく。

### 梨の降雹被害 農家に的確な支援と営農が継続していける支援を

**答** 農業保険制度への加入を推進し、梨農家の営農継続に向けた支援等を検討していく。

## 石田としはる



### 済生会栗橋病院 加須移転後 現在の医療施設活用は

**問** 済生会栗橋病院は、施設を売却することも検討しているか。

**答** 院長自ら先頭に立ちあらゆる可能性を検討中。売却は選択肢の一つだが、市は済生会に継続してもらうことが大事と考える。

**問** 新たな事業者を探しているとすれば、市も一体となり探すべきでは。市長の取り組みは。

**市長** さまざまな可能性を模索中だが、報告できる状況にはない。地域医療の存続のために汗をかいており、時間をほしい。

**問** 2021年10月に移転する。期限を区切って結論を出すことは。

**答** ある程度の期限を定める方向で、話し合いは進めたい。

### 久喜市公共交通の利便性向上を求める

**問** 免許証を返上したいが手放すと出かけられない。利便性向上を求める声があがっている。どのように受け止めているか。

**答** 本市は、民間の鉄道、路線バス、タクシー、市内循環バス、デマンド交通などあり、返納後も外出の手段はあると考える。

**問** 2020年3月に実証実験は終了する。見直し開始を。

**答** アセットマネジメントの進捗状況等あり、見直しは適切な時期に庁内会議、公共交通会議で協議し進めていく。

**問** 30分前の予約は取れない、早く解消すべく改善を。

**答** 利用しやすい時間帯を周知していきたい。